

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第1回上越市青少年健全育成センター運営協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告

- ・平成27年度事業・活動報告（公開）
- ・平成27年度街頭指導等結果報告（公開）
- ・その他（公開）

### (2) 協議

- ・平成28年度運営方針と活動計画（公開）
- ・センターの運営に関する意見交換（公開）

## 3 開催日時

平成28年6月24日（金）午後2時から3時45分まで

## 4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟中会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：小松 敦、碓井和子、内山嗣久、杉本正彦、藤井清比古、小山貞榮  
古川美也子、岩片喜代子、栗田きよ子、二ノ宮善明、吉岡智宣
- ・事務局：教育長 中野敏明  
上越市青少年健全育成センター 八島所長、山崎指導員

## 8 発言の内容

《議 事》

### (1) 報告

- ・平成27年度事業・活動報告（公開）

※事務局より説明（質疑なし）

- ・平成27年度街頭指導等結果報告（公開）

（藤井委員）

街頭指導の集計結果の「注意」・「指導」の内容で、「その他」が85件とあるが内訳はどうなっているか。

（事務局）

主に、俗にいう「ジベタリアン」である。6月・9月が特に多かった。

（2） 協議

- ・平成28年度運営方針と活動計画（公開）

※事務局より説明（質疑なし）…承認

- ・センターの運営に関する意見交換（公開）

※本協議会は、青少年健全育成センターの運営改善のため各委員から意見をだしてもらい事業の見直しを行っていく方向で進めていくことを事務局より説明

（栗田委員）

専門的な取組の情報を得ることも大切であるが、全体としての取組を考えることも大事である。テーマを絞って話し合っていく方向には賛成である。青少年の課題は多いが、話し合いを通して、できるところから進めていければよいと思う。具体化には話し合いの回数を重ねていくことも必要である。一つずつでもできることからやれば前進である。この場で資料を示され意見を述べろと言われてもなかなか言えない。事前に資料をもらい、自分なりに意見を用意して協議できるようにするとよい。

（古川委員）

事前にテーマがはっきりしていれば発言できる。私も賛成である。

（内山委員）

数値上は非行等での補導件数は減少している。他の問題に隠れて見えにくくなっているとも言えなくもないが、この時期に青少年の課題についての見直しを検討していくことはいいのではないかと思う。

（吉岡委員）

個人情報の問題等もあって子どもの様子が地域で見えにくくなってきている。こういう状況の中で、センターの機能を変えていこうということであると理解した。委員として協力していきたい。

（二ノ宮委員）

私は、ネットトラブルの問題を学校で時間をとって子どもに話してほしいと思って委員に応募した。ネットトラブルの問題への対応を願っている。

(小山委員)

資料での子どもへの関わりの区分けがあいまいな点がある。私の所属の場合、もう少し広い範囲でかかわっている。また、青少年の問題に関する会議が多くあり、団体の代表が重複して会議に参加していることが多い。以前、できるだけ会議をまとめ、効率的に進められるよう提案したことがある。効率的に会議を進めてほしい。

(事務局)

この資料では、関係機関・団体の主たる関わりということで整理してある。子ども達には地域育成会議が総体としてかかわっている。市全体では、各関係機関や団体の代表に集まってもらい、情報共有を行っている。

(藤井委員)

各組織では取組の焦点化を進めていかななくてはならない。地域育成会議では、「あいさつ」から「ネットトラブル」に重点を移して取り組んでいる。中郷の地域青少年育成会議でもネットトラブルの問題に取り組んでいる。昨年度は、「社会を明るくする運動」研究会で、小・中学生、保護者、地域の人たちで話し合いを深める機会をもった。それぞれの団体の特性を生かしながら活動している。

(二ノ宮委員)

子どもにだけ話しても親が知らないとダメである。親子で家庭の食卓での話題にならないとダメである。親子で話し合っていく場が必要である。

(碓井委員)

「補導」ということから「健全育成」ということに、委員としてどう関わっていけるかということが分かった。ここで話し合われたことを、所属団体に報告し周知していきたい。以前、近隣市町村の活動に関わったことがあるが、なかなかうまくいかなかった経験がある。近隣市町村の取組の様子を調べ、報告してもらおうと参考になる。

(小松委員)

ここで話し合われたことは、全校長に十分理解されていないように思う。私も伝えるよう努力するが、中学校はどうしてほしいかを指示してもらおうと私も話ができる。私の認識では、ゲームセンターへの出入りは、「保護者同伴でも好ましくない」ではなく「保護者同伴でもいけません」であったと思う。街頭指導の時この違いは大きい。中学校の指導状況を確認することはできる。

(古川委員)

市P連では、本年度「メディア宣言」を出して、全体で取り組む活動を行っている。家庭で親子の話し合いを進めてほしいという願いがある。児童生徒からも、宣言がでよかったという声もある。報道機関等を通じて啓発している。

(藤井委員)

今年度、育成センターの運営について、共通の話題（テーマ）について意見を出し

合い、議論していく方向でいいと思う。

(栗本委員)

話題がはっきりしていても、委員としての意見は言えるが所属の意見を代表して述べることは難しい。

(事務局)

所属の意見を代表して述べてもらうことは考えていない。所属での経験や委員の問題意識からの発言をお願いしたい。事前に意見をまとめてきていただくため、次回開催前にテーマに関わる資料をお届けする。事前検討をお願いしたい。

## 9 問合せ先

上越市青少年健全育成センター TEL：025-544-4690

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。